

# 教育情報コーナーからのお知らせ



新年明けまして、おめでとうございます。  
本年も、教育情報コーナーをよろしくお願いいたします。  
今年の干支は「申」。  
世界各地にサルのことわざがありました。  
サルはあまり良くいわれていないみたいで……。  
お正月の話題どうぞ。



セネガルの  
ことわざ



## 猿の畑には実りはない

遊んでばかりいる者は、よい結果を得られないということ。

## 猿は犬のたくさんいる家をお前よりよく知っている

野猿が人の家や畑を荒らすということがよくあつたらしい。  
悪事をなす者は自分にとって危険なものをよく心得ているということ。

スリナムの  
ことわざ



## 猿がこの地上から手に入れて、木の上に置いた物はなくなることはない

人が他人に親切にしておけば、それは失われることのないものを木の上に蓄えたのと同じことだという意味。

ビルマの  
ことわざ



## 猿まわしをして米を稼ぐ

まっとうな手段で生計をたてるべし。

中国-漢民族の  
ことわざ



## 猿に果物の見張りをさせるな、カワウソに魚の番をさせるな

「米泥棒は倉庫番の役人になりたがるもの」を身近な動物に即して語ったもの。

パキスタンの  
ことわざ



## 猿にはわからぬ生姜の味

その価値がわからないものには高価なものも意味がない。

ガイールの  
ことわざ



## 人は、猿が犬につけた傷は数えるが、犬が猿につけた傷は数えない

ちょっとしたことを根を持って喧嘩を吹きかけてくるひとがいるが、本当はその人のほうがよほどひどいことを言っているのだ。

今年こそ「難」が「サル」といきたいものですね。

